

2025年7月22日

各位

株式会社北洋銀行

株式会社北海道共創パートナーズ

長谷機械商事株式会社様の『SDGsコンサルティング』のご利用について

北洋銀行（取締役頭取 津山 博恒）と子会社の株式会社北海道共創パートナーズ（代表取締役社長 岩崎 俊一郎）は、お客さまのSDGs経営への取り組みを支援するため「SDGsコンサルティング」を提供しています。今般、長谷機械商事株式会社様（北海道札幌市、代表取締役 長谷 高秋様）が本サポートを利用し『サステナビリティ経営方針』を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

近年、社会的にSDGsへの取り組みに対する関心が高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出につながることから、多くの企業がSDGsへの取り組みを推進しています。

北洋銀行グループは今後も、北海道の地域金融機関として道内のSDGs促進・普及に貢献するために、お客さまのSDGsへの取り組みを支援してまいります。

記

会社概要

会 社 名	長谷機械商事株式会社
所 在 地	札幌市東区北20条東20丁目6番1号
代 表 者	代表取締役 長谷 高秋
業 種	機械部品卸売業

※サステナビリティ経営方針の詳細は別紙をご参照ください。

以 上

《北洋銀行グループ サステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。



長谷機械商事株式会社

サステナビリティ経営方針

私たちは、「困った時の長谷機械」をモットーにお客様に寄り添うサービスを提供し、環境への配慮と地域社会への貢献を大切にすることで「**企業笑顔**」の向上と持続的経営の実現に努めてまいります。

企業理念

“笑顔あふれる企業を創る”
～長谷機械に関わる全てのメンバーの「笑顔」のために～

行動指針

- ① 個々の役割を理解し行動する
- ② 自己犠牲精神でみんなの為に行動する
- ③ 利益率・額の一滴までを意識した行動をする
- ④ 家族の輪を大切に行動する

事業に影響を与える環境変化

環境

- 脱炭素に向けた社会変化
- 自然災害の激甚化
- 自然保護への規制強化
- 循環経済の加速

社会

- 人口減少・少子高齢化
- 価値観やライフスタイルの変化
- 世帯構造・社会構造の変化
- 働き方改革の進展

経済 ガバナンス

- サプライチェーンの見直し
- 新型コロナによる産業構造の変化
- 公正な事業慣行の推進
- サイバー攻撃の増加
- 企業の社会的責任に対する重要性の高まり

重要課題（マテリアリティ）

1 笑顔あふれる
職場環境づくり

2 顧客基盤強化と
企業成長の実現

3 環境配慮と
経済活動の両立

4 物流の効率化と
円滑な取引の実現

5 ガバナンス体制の強化

取組内容

- 従業員満足度向上と働きがいの創出
- ワークライフバランスの充実

- 円滑なコミュニケーションによる信頼性の向上

- 企業活動を通じた環境保全の推進

- 業務効率の最適化

- 組織体制の強靱化

主なステークホルダー

仲間および家族

取引先
仲間

地球環境
地域社会
行政

取引先
仲間

取引先
仲間

サステナビリティ経営への取り組み

SDGs達成とマテリアリティへの取り組み

社会・地域

私たちは仲間とその家族が笑顔であられる企業づくりに努めるとともに、事業を通じた社会貢献を実践し、地域と共に成長する企業を目指してまいります。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- 定期健康診断受診率100%
- 退職金制度の導入
- 人事評価制度の策定・運用
- 地域への寄付・災害時の避難場所指定
- 商品展示会への積極参加



重要課題	取組内容	目標・KPI
笑顔あふれる 職場環境づくり	従業員満足度向上と 働きがいの創出	■ 2026年度までに地域貢献に資する取り組みを2件実施する ■ 2028年度までに新たな福利厚生プログラムを2件導入する ■ 2028年度までに資格取得推奨制度を導入する ■ 2年に1回外部講師による社員研修(マネジメント研修・コミュニケーション研修等)を実施する
	ワークライフバランスの充実	■ 2028年度までに有給休暇取得率を5%向上させる
顧客基盤強化と 企業成長の実現	円滑なコミュニケーション による信頼性の向上	■ 既存ユーザーへの訪問頻度を月毎に設定し達成率80%以上を維持する

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

また、環境問題、労働負荷や人権問題など企業を取り巻く社会課題のうち、当社が将来にわたって事業活動を継続するために重要な課題をマテリアリティと定め、重点テーマを設定しております。

重点テーマの取り組みを通じて、経営のリスクを回避し、イノベーション創出の機会を捉えてまいります。

2025年7月 長谷機械商事株式会社

環境

私たちは地球環境問題を経営上の重要な課題の一つとして認識し、持続可能な社会の実現に向け、事業活動を通じた環境保全に取り組んでまいります。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- 太陽光発電システムの導入
- 月間・年間ガス使用量の把握
- ハイブリット車両への切り替え



重要課題	取組内容	目標・KPI
環境配慮と 経済活動の両立	企業活動を通じた 環境保全の推進	■ 2025年度までに会議方法やフローのDX化を図る ■ 2030年度までに社内の紙使用量を2024年度対比で10%削減する

経済・ガバナンス

私たちは経営の客観性・透明性を高め、従業員一人ひとりのコンプライアンス意識を強化し、信頼される企業づくりに努めてまいります。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- 原価管理の徹底
- 安全運転の遂行・配送プロセスの確立
- 交換部品・メンテナンスサイクルの熟知



重要課題	取組内容	目標・KPI
物流の効率化と 円滑な取引の実現	業務効率の最適化	■ 2025年度までに仕入品入庫後の紛失防止策を検討し、翌年度中に実施する
ガバナンス体制の強化	組織体制の強靱化	■ 2年に1回外部講師によるコンプライアンス研修を実施する

HASEKIKAKAISHOJI